



学校だより 8・9月号

石川小学校スローガン

「みどり・ふれあい・すこやか 笑顔いっぱい 石川の子」

令和元年8月27日

横浜市立石川小学校

校長

寺園 淳

横浜子ども会議

児童支援専任 臼井 宜子

「横浜子ども会議」は、平成25年度から実施され、全市立学校の子どもたちが「いじめ」を自らの問題として受け止め、だれもが安心して生活できるよう「いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会」を目指して、話し合いを行っています。

今年度の南区は「誰にとっても居心地のよい学校づくり～ネット世界でも、気持ちよく過ごすために～」をテーマに各校にて話し合いを行っています。児童生徒の携帯電話やスマートフォン所持率上昇に伴うネットトラブルの増加を踏まえ、インターネット空間でも子どもたちが気持ちよく過ごすことができるために何ができるかを、保護者、地域、警察、区役所等と連携しながら、子ども主体に考え、立案していきます。

7月11日(木)平楽中学校にて、平楽中学校、中村小学校、石川小学校の各校代表の生徒児童による平楽中ブロック会議を行いました。本校の代表として計画委員会委員長6年1組岸田和希さんとオブザーバーとして5年1組菊池十瑚さんが参加しました。また、保護者代表として岸田さんのお母様にも参加していただきご意見をいただきました。各校にて行ったインターネットについてのアンケートをもとに、自分たちの考えを出し合い、ブロックの意見としてまとめました。インターネットの良さとして、連絡を取るときや調べ物をするときに便利であること、写真などで思い出を残したり、音楽を聞いたり楽しいことにも使えることなどがあげられました。反面、トラブルがあったとき、インターネットに流した情報は、完全に消すことができなったり、仲間はすれが起りやすかったり、うその情報があっても分かりにくかったりということがあげられました。また、危険なサイトの存在やゲーム依存にも気をつけなくてはならないことも話し合われました。

子どもたちの話し合いを聞いていると、子どもたちの方がインターネットについて詳しいことも多く、大人の管理をすり抜けてしまうことがあることがわかりました。インターネットと上手に付き合うためには、子どもたちでルール作成・確認をしていくことはもちろん、携帯電話・スマートフォンは、保護者の責任で与えるということを再確認し、大人もインターネットにもっと詳しくなって、利用を上手に制限する必要があると思いました。

8月28日(水)には南区全体での子ども会議があります。岸田さん、菊池さんと平楽中ブロックでの話し合いを元に南区としてどのような取り組みをしていくべきかを話し合ってきます。

